

自治会運営・自治会 活動の課題調査

報告書

令和8年3月
湖西市市民課

目次

I	調査の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	アンケート結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III	今後の展開	・・・・・・・・・・・・・・・・	7

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、湖西市内の自治会を取り巻く状況や役員が抱える運営課題をお聞きし、今後湖西市が行う自治会支援の参考とすることを目的に実施しました。

〔実態調査内容〕

- ・自治会の運営課題の把握
- ・自治会の課題に取り組む状況の把握

〔期待する効果〕

- ・支援策と対応策についての検討
- ・自治会役員間での課題共有のきっかけを創出

2 調査設計

調査対象： 湖西市内の自治会 41自治会 会長及び副会長

調査方法： 調査票を郵送にて配布し、オンラインと紙により回収

調査期間： 令和7年11月14日から令和8年1月8日

3 回収結果

対象数： 118件

回収数： 86件

回収率： 72.8%

4 報告書を見る際の注意事項

- ・基数とすべき実数はnとして記載し、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

Ⅱ アンケート結果

1 結果の概要

(1) 自治会役員を引き受ける際負担に感じるもの

設問「自治会の役員を引き受けるにあたり負担に感じるものは何ですか」について

「知識や経験の不足」が最も高い割合である。次いで、「時間的な負担」があがる。

(1) -1 考察

「知識や経験の不足」に対し、役員任期が短いことで、地域に役員経験者を多く輩出しているが、ノウハウがうまく引き継がれていない状況が推測できる。また、「時間的な負担」が次いで高い割合であることから、役割分担の偏りや役員の協力者が少ないことが推測できる。

選択肢	割合
知識や経験の不足	26.6%
時間的な負担	25.8%
責任の重さ	23.4%
役割が不明確	12.5%
人間関係のトラブル	8.1%
その他	3.6%
負担はない	0.0%

II アンケート結果

1 結果の概要

(2) 自治会を運営する中で課題に感じるもの

設問「自治会を運営する中で課題に感じるものは何ですか」について

「課題がある（※A:「課題なので対応したい・対応中」、B:「課題だが対応できない」の回答数を合算したものの）」の回答率が50%以上の設問が15問中7問あった。「課題がある」については、「役員の後継者不足」が81.4%（A:44.2%、B:37.2%）で最も多く、次いで「会員への情報発信方法のデジタル化」が66.3%（A:26.7%、B:39.5%）、「非会員の加入活動」が60.5%（A:14.0%、B:46.5%）であった。

一方、「課題ではない」ものとして、「自治会費の集金方法」が82.6%で最も多く、次いで「役員同士のコミュニケーション円滑化」が81.4%、「規約の作成や見直し」76.7%であった。

(2) -1 考察

役員の後継者不足について、「課題感がある」と感じる一方、会議の短縮などにより拘束される時間の削減や役員選出方法の見直しなど、対応策も複数あげられていることから、役員にかかる負担を軽減することにより、担い手が役員を引き継ぎやすい環境にしていきたい思いが想定される。また、自治会活動への理解不足や人材不足などにより、対応が難しいとの回答も多く、役員の新任や再任が余儀なくされる自治会もあると考えられる。

会員への情報発信方法のデジタル化について、SNSの活用意向がある一方、知識不足や紙との併用による負担増加への懸念から、導入を躊躇する様子が伺える。さらに、事務効率化の設問において、ペーパーレス化に取り組みたいという意見がある一方で、役員間のパソコンスキルに差があるといった意見もあり、急進的なデジタル化ではなく、役員や会員にとって無理のないデジタル化を進めるための支援ニーズがあると想定される。

非会員への加入活動について、「課題がある」が多い設問の上位3つ目だが、上位2つと異なり、「課題だが対応できない」と回答する役員が多く、特徴的である。加入を強制できないことや声掛けの難しさなどが理由として挙げられており、加入活動の方法の転換が求められる。

No.	設問	「課題がある」割合
Q1	役員の後継者不足	81.4%
Q2	自治会行事への参加者が少ない	57.0%
Q3	自治会運営に協力者がいない	43.0%

Q4以降は次頁

II アンケート結果

1 結果の概要

Q1～3は前頁

No.	設問	「課題がある」割合
Q4	行事の見直し	55.8%
Q5	事務作業の効率化	52.3%
Q6	役員同士のコミュニケーション円滑化	18.6%
Q7	役員構成（人数、任期、選出方法など）	51.2%
Q8	自治会費の集金方法	16.3%
Q9	公会堂等の整備計画の作成や見直し	43.0%
Q10	規約の作成や見直し	23.3%
Q11	会員同士のコミュニケーションの活発化	29.1%
Q12	会員への情報発信方法のデジタル化	66.3%
Q13	会員からの要望や苦情への対応方法	30.2%
Q14	非会員への加入活動	60.5%
Q15	行政からの依頼事項の対応	45.3%

Ⅱ アンケート結果

1 結果の概要

(3) 自治会活動の中で、見直しが必要なもの

設問「自治会を運営する中で、見直しが必要なものは何ですか」について

「防災に関する活動」に対し「見直しが必要」と回答する役員の割合が60.5%と最も高い割合である。

見直しが必要な理由として、「役員の負担」「担い手不足」などの回答の割合が高い。

「親睦・交流イベント」に対し、「見直しが必要」と回答する役員の割合が70.9%と最も高い割合である。

一方、「見直しが必要」と回答した理由として、「役員の負担」「担い手不足」と回答する役員の割合が高い。

(3) - 1 考察

自治会活動の見直しが必要なものにおいて、見直しが必要な理由が「役員の負担」「担い手不足」と回答する割合が高いことから、行事の集約を推進する（活動のスリム化をする）ことが最も効果的であると推測できる。

No.	設問	選択肢	割合
Q1	防犯・交通	見直しは不要	60.5%
Q1-2	見直しが必要な理由	担い手不足	46.9%
Q2	高齢者等福祉や子どもの見守り活動	見直しが必要	60.5%
Q2-2	見直しが必要な理由	担い手不足	44.6%
Q3	地域の清掃活動	見直しは不要	64.0%
Q3-2	見直しが必要な理由	担い手不足	38.5%
Q4	親睦・交流イベント	見直しは不要	70.9%
Q4-2	見直しが必要な理由	役員の負担	37.8%
Q5	防災に関する活動	見直しが必要	60.5%
Q5-2	見直しが必要な理由	役員の負担、担い手不足	同率32.9%

Ⅱ アンケート結果

1 結果の概要

(4) 相談相手について

設問「自治会運営・活動に携わる際に相談できる人」について

「前任や役員経験のある人」の回答の割合が38.6%で最も高い。次いで、「同じ地区の役員」の回答の割合が高い。

(4) - 1 考察

自治会運営・活動に携わる際の相談できる人において、「前任や役員経験のある人」が多いことから、身近に前任や役員経験者が多く、迅速に解決かつ手早く相談できる恵まれた環境にある一方、業務がマニュアル化されておらず、記録に残っていない暗黙知が多いことから、都度の確認作業が役員の負担増に繋がることが推測される。また「同じ地区の役員」が多いことから、地域の連帯感が強く、役員間の情報交換に関するハードル（心理的・物理的）が他よりも低いことが推測できる。

選択肢	割合
前任や役員経験のある人	38.6%
同じ地区の役員	30.5%
行政職員	11.7%
他地区の役員	10.7%
家族や身近な人	7.1%
その他	1.0%
相談できる人はいない	0.5%

Ⅲ 今後の展開

1 持続可能な自治会に向けて

自治会は、一定の区域に暮らす住民の皆さんで組織する任意団体で、主に住民相互の助け合いや交流等を目的とする、身近で歴史ある組織です。主に次のような活動をしています。

(活動の例)

- ・生活安全の活動
防犯灯の管理、子どもや高齢者の見守りなど
- ・環境美化の活動
町内清掃、こみステーションの管理 など
- ・伝統文化や交流活動
お祭り、盆踊り など
- ・広報連絡
自治会行事や行政だよりなどの回覧

本調査結果から、「役員の後継者不足」「会員への情報発信方法のデジタル化」「非会員の加入活動」等の自治会活動の困りごとが浮き彫りとなりました。特に人口減少、少子高齢化、住民のライフスタイルの多様化が進む中、前例や従来通りの事業を継続しようと懸命に活動する自治会が多く存在します。運営に携わる役員の負担が増加していく状況、及びその負担により後継者不足に陥る連鎖は、見直しを行わなければなりません。各地域において「本当に必要な活動は何か」の話し合いを引き続き行い、次世代へつながるコミュニティづくりの一助となることを願い、下表に当アンケートにあげられた、自治会の対応策や対応したい内容を掲載します。

設問	自治会の対応策や対応したい内容
役員を引き受けやすくするために必要なこと	<ul style="list-style-type: none">・ 役員の仕事を減らす・ イベントの削減と効率化・ 働く人も参加しやすい環境づくり
「役員の後継者不足」への対応したい内容、対応中の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 会議の短縮などによる拘束時間の削減・ 次期役員の選出の方法（輪番制導入など）

Ⅲ 今後の展開

2 先進事例

他自治会や自治会連合会の先進事例を掲載します。

●自治会運営と活動の課題解決に向けた取組を行う先進事例

事例① 自治会や地域の未来について問う、アンケートを実施（磐田市）

地区の中学生以上の全住民に対し、アンケートを実施する。多世代の考えや視点を可視化することで、相互理解が深まり、活動施策の「ミスマッチ」を防ぐことができる。

問4:青城地区で行っている・今後行うべきと20の地域活動の[重要度]-[満足度]を求め、不足の度合いを年代別にしました。

活動が不足 重要なのに満足していない	順位	10-20代		30-50代		60-70代		80代以上	
		重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度
活動が されている 満足度が 高い	1	子どもの居場所づくり活動	32.8	IT活用で住民向けの広報連絡	53.4	移動支援活動	56.2	移動支援活動	56.4
	2	不安や悩みが相談できる場所	29.1	移動支援活動	49.9	高齢者生活支援活動	51.9	農地維持や荒廃農地解消	47.9
	3	防災活動	27.6	子どもの居場所づくり活動	49.4	農地維持や荒廃農地解消	51.3	高齢者生活支援活動	46.8
	4	IT活用で住民向けの広報連絡	24.9	高齢者生活支援活動	43.9	不安や悩みが相談できる場所	47.5	防災活動	46.2
	5	移動支援活動	23.5	不安や悩みが相談できる場所	39.2	防災活動	46.8	不安や悩みが相談できる場所	42.3
	6	子育て支援活動	22.8	防災活動	38.7	子どもの居場所づくり活動	43.9	消防活動	39.7
	7	消防活動	22.7	農地維持や荒廃農地解消	36.5	防犯活動	43.6	子どもの居場所づくり活動	36.8
	8	防犯活動	19.2	防犯活動	33.7	消防活動	41.7	防犯活動	35.9
	9	高齢者生活支援活動	19.2	子育て支援活動	33.5	子育て支援活動	30.4	子どもの安全を支える活動	28.0
	10	農地維持や荒廃農地解消	19.2	消防活動	32.5	IT活用で住民向けの広報連絡	30.0	美化・環境保全活動	27.0
	11	子どもの安全を支える活動	17.2	子どもの安全を支える活動	25.4	子ども会など子ども対象活動	29.4	子育て支援活動	26.8
	12	美化・環境保全活動	13.6	美化・環境保全活動	20.7	子どもの安全を支える活動	28.8	子ども会など子ども対象活動	21.7
	13	子ども会など子ども対象活動	11.8	子ども会など子ども対象活動	14.5	美化・環境保全活動	26.8	交通安全に関する活動	21.5
	14	高齢者対象行事	10.7	高齢者対象行事	13.4	回覧板など地区内情報共有	21.6	回覧板など地区内情報共有	17.9
	15	生涯学習や生きがいづくり活動	4.0	回覧板など地区内情報共有	12.2	交通安全に関する活動	17.8	IT活用で住民向けの広報連絡	14.6
	16	回覧板など地区内情報共有	3.0	健康づくり活動	8.4	健康づくり活動	17.4	高齢者対象行事	12.6
	17	健康づくり活動	2.2	生涯学習や生きがいづくり活動	7.0	生涯学習や生きがいづくり活動	14.7	健康づくり活動	12.0
	18	交通安全に関する活動	-1.6	交通安全に関する活動	1.9	高齢者対象行事	12.1	生涯学習や生きがいづくり活動	8.3
	19	地域スポーツ大会など体育行事	-3.9	祭りなどのイベントや祭典	-19.1	地域スポーツ大会など体育行事	-6.4	地域スポーツ大会など体育行事	2.9
	20	祭りなどのイベントや祭典	-4.5	地域スポーツ大会など体育行事	-22.9	祭りなどのイベントや祭典	-8.3	祭りなどのイベントや祭典	-5.3

※「とても重要」と「やや重要」の回答率から、「あまり重要でない」と「重要でない」の回答率を引いたものを、重要度指数とし、同様に計算した満足度指数を引いた結果を数値で表記しました。

●「親睦・交流イベント」の課題（役員の負担や担い手不足）の解消を試みた先進事例

事例② 自治会活動の敷居を下げる（品川区ほか）

イベント開催時、役員だけで当日運営するのではなく、子どもと一緒に参加した親御さんに簡単な手伝いをお願いする。

自治会の役員になって初めて運営に携わるのではなく、興味のある分野の運営から携わることから、自治会運営に対する抵抗感を減らすことができ、協力者を増やすことや後継者の確保として期待ができる。

Ⅲ 今後の展開

3 自治会と行政等との関係について

湖西市では次の事項について継続支援してまいります。

●支援のあり方について

本調査結果を受け、自治会役員の負担軽減することにより、役員を担うことへの不安解消に繋げることが重要と考えます。

本市は、地域づくりのパートナーとして、先進事例の紹介や湖西市自治会連合会との連携による事業を通じて、組織変革を後押しする共に、自治会役員の負担軽減策の一環として、行政からの依頼事項についても改善に向けた調整を行います。

●行政が行うこと

1. 運営や集会施設への補助金

- ・湖西市自治会運営費交付金
- ・湖西市公会堂等建設費補助金
- ・湖西市自治会地域活動補助金
- ・自治会物価高騰対策支援事業補助金（※国の重点支援地方交付金活用事業のため、令和8年度のみ）

2. 運営の支援

- ・活動課題をサポート（デジタル化の専門家や地域づくりアドバイザーの派遣など）
- ・相談窓口（自治会運営に関する相談や通訳派遣）

●湖西市自治会連合会と行っていこうとするもの

- ・加入促進チラシ作成し、転入者に配付
- ・地区交流会や研修会の開催
- ・静岡県や静岡県自治会連合会との連携及び情報収集 など